

2023年8月2日

SHO-BOND & MIT インフラメンテナンス株式会社 米国インフラ補修事業者 Structural Technologies 社への出資参画

SHO-BOND & MIT インフラメンテナンス株式会社（ショーボンドホールディングス株式会社（以下「ショーボンド」） 51%、三井物産株式会社（以下「三井物産」） 49%、以下「SB&M 社」）は、独自の製品、エンジニアリング支援、施工サービスを提供する米国のインフラ補修事業者 Structural Technologies, LLC（本社：米国、以下「ST 社」）へ出資参画することに合意しました。

ST 社は、1976 年創業の米国で最大のインフラ補修事業者の一つである Structural Group, Inc.（本社：米国、以下「SGI 社」）の子会社です。ST 社は、独自の製品及びエンジニアリング支援を補修・建設サービスと統合することで、付加価値の高いソリューションを施主、エンジニアリング会社、施工業者に対して提供しています。ST 社は VSL 社^{*1} のポストテンション^{*2} 及び斜張ケーブル製品の米国における独占サプライヤーです。同社は橋梁など交通分野における成長戦略を有しており、それが今回の SB&M 社との新たなパートナーシップにつながりました。

インフラ投資雇用法^{*3} が成立するなど、米国においてインフラの老朽化が深刻な社会問題となる中、脱炭素及びサーキュラーエコノミーの重要性の観点からも、今後、橋梁などのインフラの長寿命化・強靱化に対する需要の一層の高まりが見込まれます。とりわけ橋梁については、米国の全橋梁数の 36% に当たる約 22 万橋が補修又は架け替えを要し、その対応には約 2600 億ドルを要すとの米国道路交通建設者協会の試算もあります。

SB&M 社は、ショーボンドが創業以来 65 年の経験で培ってきた技術と三井物産の事業開発力及びネットワークを活用して、ST 社の製品・サービスの継続的な拡充、事業規模の拡大、収益性の向上などを支援し、ST 社の更なる成長を加速していきます。また、既に表面化しているインフラの劣化への対応に限らず、ライフサイクルコストを念頭に置いた長寿命化対応や自然災害に対するインフラの強靱化にも挑戦することで、米国においても「社会資本を良好な状態で次世代に引継ぐ」ことに貢献していきます。

^{*1} VSL International 社は、フランス企業 Bouygues Construction の子会社で、ポストテンションと斜張ケーブル構造物、基礎、地盤工学の建設および補修を専門とするスイス企業

^{*2} コンクリート打設後に PC 鋼材を緊張させ、コンクリートを高強度化する技術

^{*3} 2021 年 11 月に米国で成立した法律。2022 年度から 5 年で 5,500 億ドルの新規支出と既存予算を含めた総額 1 兆 2,000 億ドル規模を拠出するもので、道路や橋梁の修復・再建、公共交通機関、港湾等への投資や、気候変動対策を重視した取組支援を盛り込む。

会社概要：

会社名	Structural Group, Inc. (ストラクチュアル・グループ)
所在地	メリーランド州、米国
設立年	1976年
代表者	Peter Emmons (ピーター・エモンズ)
従業員数	約 3,000 名
事業概要	インフラ領域における製品・エンジニアリング支援・施工サービスの提供
ウェブサイト URL	https://www.structuraltechnologies.com/ https://www.structural.net/ https://www.pullman-services.com/



ST 社が建設に関わったグリーンビル橋



三井物産／藤田鉄鋼製品本部長 SGI 社／Emmons CEO ショーボンド／岸本社長